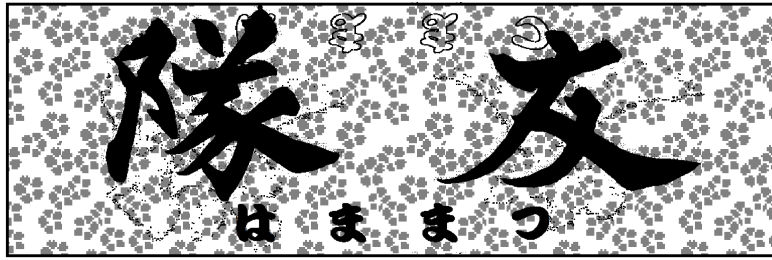


浜松支部理念



互奉協 助仕力



発行所:公益社団法人 隊友会 静岡県隊友会 浜松支部

発行責任者:新田 満 徳 春名 正 寺 光 編集責任者:春名 正 寺 光 題字:寺 光 E-mail:taiyukai.hamamatsu@gmail.com ホームページ:http://taiyukai.or.jp/wordpress/

令和6年度浜松支部定期総会

令和6年度浜松支部定期総会を左記のとおり開催いたします。

記

一日時 令和6年7月6日(土)

午前10時00分〜午後12時20分

二場所 アクト研修交流センター(静岡県浜松市中央区中央3-9-1)

三 行事故次第 「総会」 10時00分〜11時30分

「会食」 11時45分〜12時20分

四 出欠通知

同封のはがきにて、令和6年6月15日(土)までに出・欠のご連絡をいただきますようお願い申し上げます。なお、欠席の場合の議決権行使にあたり、支部長に一任される場合は、「委任状」の送付は省略とさせていただきます。

グラウンドゴルフで交流

引佐連合支部の隊友及び地域住民の皆様と交流

令和6年4月23日(火)に静岡県

隊友会引佐連合支部が主催する春季グラウンドゴルフ大会が64名の参加で開催されました。浜松支部からは若杉幸助、山本満男、

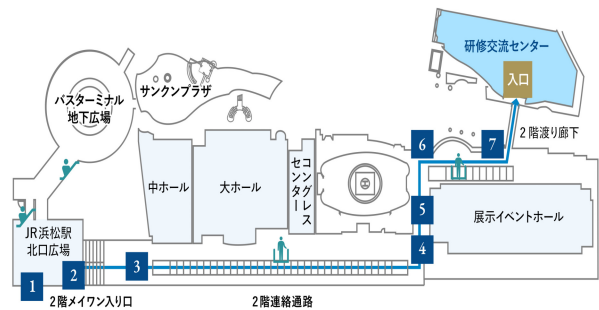
林吉介、春名正徳の4名の隊友と

岩田昭子様、竹内進様、伊藤繁太郎様、中西文夫様、二橋康志様の5名が参加され和気あいあいのうちに引佐連合支部との交

流ができました。

今回の引佐連合支部の秋季グラウンドゴルフ大会も決まりしい本紙でご案内しますので、ご家族、お友達をお誘いの上、多数のご参加をお

願いたします。



わたくしの「今」

同年代の諸兄の皆様へ

奥田義政 隊友

家内に認知症の兆候がでたため「サービス付高齢者住宅」へ急遽入居させられました。わたくしは、なんとか一人残って生活を送っていましたが、次第に生活全般の負担に耐えきれず、家内と同じ建物に入居しました。「サービス付高齢者住宅」は、全室が個室で、好ましいのですが、インターネットの接続がありません。もっぱら、本とテレビです。

最近読んだ本で感銘を受けたのは、山崎豊子氏の作品で「不毛地帯」です。なんだ、今頃読んだのかと笑われそうですが、「壹岐 正」のよくな生き方ができなかつたなあと、わが身の非才を棚に上げ、ため息を

ついてます。ときどき引き出しては、拾い読みしていただきます。車を持っていないので、買い物や本屋さん図書館などは、なかなか行けません。からだや知能に障害の兆候が表れた時どうするか...などと考えていましたが、今回は他の選択肢はありませんでした。同じ施設に入居して、車も手離してみると、その不便さに啞然とします。

一軒家で、妻と二人だけの生活が25年以上となり認知障害の兆候があるなどは、夢にも思いませんでした。

ここで一句

わが夢は 夜中ひっそり

天国へ

本誌に投稿・寄稿された方に クオカードを進呈します。



記事募集

記事内容は隊友の近況や趣味、俳句、写真、絵、マンガ、など隊友の皆さんにお知らせ下さい。記事はお近くの役員にお渡し下さるか、郵送、または、メールにて送信して下さい。送って下さいました写真等については後日お返しいたします。

浜松南北基地統合 よもやま話(2)

隊友会浜松支部顧問 今村昭八

3 統合の象徴

(1) 南北道路

滑走路で、南北に分断されている基地を円滑に運用するには、南北横断道路が不可欠で、滑走路西側のオーバーランを短縮し、切り通し道路を建設する基本計画に対し、滑走路は現状維持し、別の道路を通す計画変更を、統合担当部長(一空団司令)は強く求め、予算確保はもとより、中央との交渉をはじめ種々の懸案事項を解決し、滑走路・オーバーランは現状維持し、現在の道路が開通しました。当初滑走路中央下にトンネル道路を通す提案等もありました。統合による基地運営に顕著な効果をもたらしている滑走路西側外周道路

は、日々車両や隊員が何事も無く往來していますが、統合の象徴的夢建造物として、開通に尽力された方々の名を冠した「〇〇道路」と命名し、功績を讃え、記憶に留めておきたいものです。

(2) 車両整備工場

統合と同時期、南北基地の教導高射隊は、ナイキシステムからペトリオットシステムへの更新(換装)事業が着々と遂行されていました。部隊装備の超大型を含む車両の整備は、「南基地に依頼、車両整備員〇名増員」のみが示されています。南基地車両整備は、消防車の車体が半分程度入る旧軍の建物で実施しており、整備員の増員のみでは支援困難

4 基地開設35周年記念航空祭

念航空祭

統一を一年後に控えた昭和62年(1987年)の航空祭は5年に一度の南基地主催の航空祭でしたが、統合気分を醸成させるべく「浜松基地航空祭・基地開設35周年記念」とし、南北両基地合同主催で開催しました。併せて浜松基地歴史代将官会同を実施、昭和27年(1952年)浜松基地創設(保安隊)以来の先輩

5 結び

基地の統合は、いかに基地運営を停滞無く円滑に実施しながら遂行するかが重要。浜松南北基地統合は、航空自衛隊創設以来の事業で所在部隊の新規事業も進行中。効率化のため、人員は先行削減される状況下での実施でした。南北基地司令部の幕僚はもとより、規

略」と、平成元年(1989年)3月16日、初代航空教育集団司令官 阿部空将の「訓示」の一節をもって結びとします。

則や仕事の擦り合わせだけでなく、人事交流に当たっては、人の和を大切に任務を整齐と達成させた各級現場指揮官、一術校業務部と一空団基地業務群の隊員諸官の、統合に向けた熱意と努力によってなしたものと確信しています。35年を経過した今日、基地の整然たるその偉容は、将に隔世の感があり、幾多の困難を克服しつつ築き上げた歴代司令の適格な対応と、現役諸官の努力、地元自治会の理解と納得、協力団体等の支援よって、基地安定使用の基盤が確保され続けているものと思えます。最後に『浜松南北基地について、両基地所在部隊長が積極的に諸準備を推進し、本日浜松基地として円滑に発足した。(中略)関係者の労を多とする。(以下

方にご参加をお願いし、当時豊饒(かくしゃく)として参加された初代航空団司令 源田 実大先輩(第三代空幕長・参議院議員)にご挨拶をいただき、それぞれ激動と多難な時代の思い出を語っていただき、盛会に開催できました。統合年度の昭和63年度航空祭は、昭和天皇のご病状不安で、中央及び部隊における諸行事はすべて自粛し、実施されませんでした。

お詫びと訂正

隊友はままつ第338号の寄稿への支部長の紹介において今村様を「最初の浜松基地司令」とご紹介しましたが「最後の浜松南基地司令」の誤りでした。お詫びして訂正致します。

平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集
最新情報は、ホームページでご確認ください。
自衛官募集ホームページ
自衛官募集 検索



国家を守る、公務員。



謹んでお悔やみ申し上げます

池田 浩三 隊友 (元空自 1空団) 令和6年1月8日 逝去 細部不明
寺村 猛 隊友 (元空自 教集司) 令和6年3月13日 逝去 細部不明

新しい仲間
佐々木 優輔 隊友 (元陸自 34普連)
鈴木 敏広 隊友 (元陸自 普教連)

隊友の訃報

編集後記
引佐連合支部が開催したグラウンドゴルフに初めて参加しました。ルールも知らずの参加で、また、私は一番の若年者でしたが、参加者の諸先輩の皆様の元気には勝てなくて、まだまだ頑張らなくてはと思いました。いずれは浜松支部も会員の皆様が楽しめるレクリエーションのグラウンドゴルフ大会を計画したいと思います。

浜松支部行事予定

◎一水会:6月5日、7月3日、8月7日 18:30~
浜松市農村環境改善センター

◎浜松支部総会:7月6日(土) 10:00~
アクト研修交流センター

公益社団法人 隊友会
県隊友会 お知らせ

<http://taiyukai.or.jp/wordpress/>

浜松支部の会勢

数字で見る支部活動(R6.3.10 現在)

★実勢会員数:323名
正会員:297名
特別会員:26名

★「隊友はままつ」発行部数:600部
手配り:48部
メール便:255部
郵送:0部
基地内配布:245部
その他:49部